

○2学期中間考査はじまる！

1年生は高校に入って3回目の定期考査。2年生は何回目？3年生は大学受験に向けて評定を下げたくない考査です。それぞれ思いがあるかと思いますが、評定を上げるには重要な考査となります。どのくらい頑張ればいいのか、どうすると悪い点に結びつくのか、分かってきている頃だと思います。指定校や奨学金を得るには、評定3.5以上は必要です。3年生で推薦を出している人は評定を下げないように頑張りたいところです。また、一般入試の受験をする大半の人は、習ったところをしっかりと定着させるためにも頑張りたいところです。



体育大会2022.9.2

○共通テスト出願完了 令和5年度入試は83%が出願（現役高校生は、学校から一括申込をします）

9月28日、大学入試センター宛に一括して申込をしました。受験希望者は144名/173名中。83%の人が申込をしました（去年は82%、一去年は72%）。気づきとして、出願の学校締切は必ず守るようにしてください。現役生は一括して学校からの出願となります。一人でも遅れると全体に影響します。お金のかかることですので、保護者には確実に伝え、準備をしてもらってください。今後も出願や提出締切のものが出てきます。各自の都合で待ってもらえるほど、実社会は甘くはありません。早め早めの準備をしましょう。土日に「学割や調査書をください」という人がいます。休みの日に学校が開いていて、事務してくれるものと思っている人がいますが、そういうことはありません。土日に学校に教員がいるのは、部活動指導や自分の仕事をしに来ている場合です。

○模試の実施と見直し

3年生10月記述模試の成績と1月の共通テスト成績をドッキング判定し、合格可能性を探ります。国公立大学入試の2次試験は、来年の2月25日ですから、まだ4ヶ月も先です。まだまだ成績は伸びていきますが（全国の受験生も同様）、1月末に、10月記述にさかのぼってドッキング判定結果をもとに判定します。合格しそうな、狙える大学を検索したり、本命の大学の2次試験でどのくらい点数を取らなければならないかなどを判断したりするため、10月記述は重要となってきます。考査直後ですが、気を引き締めて受験しましょう。定点観測も兼ねて実施するので、10月11日（火）は全員受験です。実施要項に注意してください。1、2年生の10月記述は10月31日（月）に行われます。先日、7月記述の模試分析を行いました。分析冊子を手にはしていると思います。先生方の分析やアドバイスが詰まっています。模試の見直しと模試ノートを作り、事前に準備しましょう。目標点は3教科合計120点。2年生は理社が加わります。



模試分析 1学年主任



国語科から説明



数学科から説明



英語科から説明

○指定校で大学進学するということは、、、

来年度入試に向けて、学校推薦型選抜を中心に推薦会議を開きました。指定校（公立大学、私立大学）、地域枠推薦（山口大学、下関市立大学、山口県立大学、山口東京理科大学）、公募型（九州工業大学、山口大学他）に計70名以上の人が校内の推薦会議に応募しました。

近年、定員の半分近くを推薦で合格させる国公立大学も出てきていますので、応募人数が増えてきています。現在、本校の指定校には中央大学、青山学院大学、成蹊大学、同志社大学、関西学院大学、西南学院大学、福岡大学等があります。これらの大学には、本校から一般入試ではなかなか合格しにくくなっていますので、指定校があるということは、先輩たちの実績によるものと感謝するとともに、入学したら4年間出席や成績の追跡があるということを肝に銘じておいてください。常に「豊高」の看板を背負っていることとなります。

4年間の成績では、GPA（Grade Point Average：大学の評定平均値/秀4、優3、良2、可1、不可0）が2.3（平均的な成績）以下だと指定校取り消しの検討に入ると通知を受けている大学もあります。また、「指定校推薦は選抜試験なので、不合格になることもある」と記載している場合もあります。九州地区の高校では、実際に指定校でも不合格者が出ています。皆さんには、実力で一般合格できる力をつけて、指定校に応募して欲しいと考えます。また、指定校合格者は最後まで共通テストを受験し、皆の先頭に立って勉強を引っ張ってください。「受験は団体戦」といわれます。受験の士気を壊すことのないように、真摯に取り組んでください。

○3年生チャレンジセミナー終わる。

合計8回の土曜講座チャレンジセミナーが終了しました。参加者から感想を集めました。「受験に向けて自分に足りないところがよく分かった」「質の高い授業内容で充実した時間になりました」「とても力が身についたと思う」「すごく勉強になった」「難しい問題をわかりやすく解説してくださって、とてもわかりやすかった」と好評でした。←「日頃なかなか体験できない予備校の授業を受けてみよう」の目標は達成できていると思いました。今後の皆さんの成長に期待しています。

○終わりに 台風14号以降急に涼しくなりました。風邪をひかないように気をつけましょう。（文責木嶋）

下関市立大学関係の記事です。

今の高校2年生が受験の時に、データサイエンス学部が新設されることになります。

看護学部は、2025年度開設予定で、今の高校1年生が受験の時に開設される予定です。

下関市大新学部 定員は80人に

経済学部の定員減

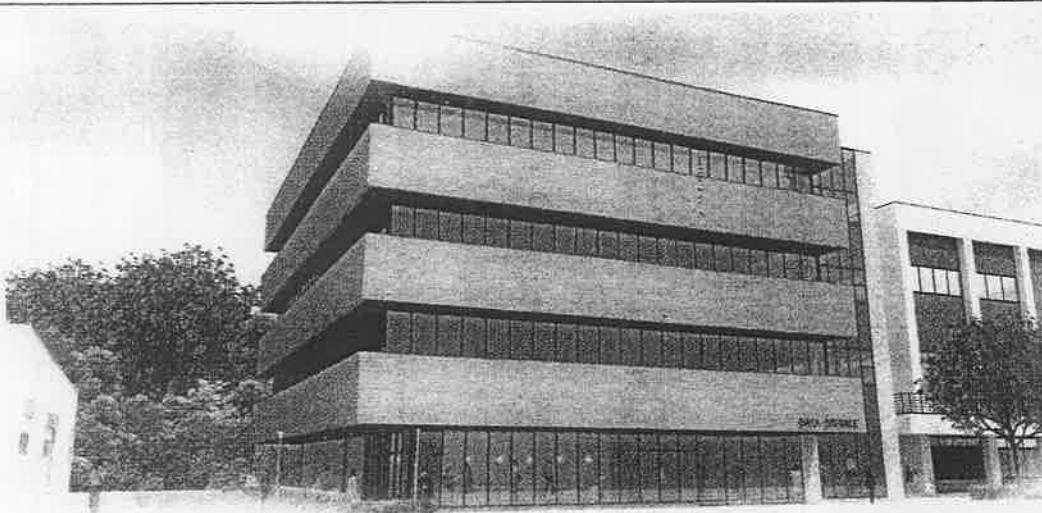
下関市は30日、市立大の総合大学化に向けて2024年度に新設予定のデータサイエンス学部（仮称）の定員を80人とし、既存の経済学部の定員を80人減らすことを市議会総務委員会に報告し、新学部棟の完成予想図を公表した。

定員はデータサイエンス学科（仮称）を80人とし、経済学科と国際商学科を40人ずつ減らすことで大学の総定員は変わらない。このうち地域推薦の募集人数はデータサイエンス学科が15人で、経済学科と国際商学科は4人ずつ減らす。いずれも24年度入学から適用する。公共マネジメント学科は定員に変更はない。

データサイエンス学部の授業料等の上限を経済学部と同額にすることを認可する議案についても説明。新学部棟は12月議会に工事請負契約締結議案を提出し、来年1月着工を目指す。

大学敷地外の市有地に教職員等の駐車場を整備することや、25年度設置を目指す看護学部の校舎設計業務の委託先が決まったことも報告した。

下関市立大データサイエンス学部棟（仮称）の完成予想図



2022.8.31「山口新聞」記事より

掲載の許可を受けています。